

(6) 日本語・日本文化学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
AE51A21	日本語・日本文化研究法		1	1.0	1・2	秋AB	火3	2G407	杉本 武, 谷口 孝介	文献探索、レポート作成の方法を含め、日本語、日本文化をどのように学び、研究するかについて考える。	日本語・日本文化学類正規生に限る。COP. 対面
AE51K11	Japan-Expert総論		1	1.0	1	春C	金5,6	入山 美保, 谷口 孝介, 澤田 浩子, 中村 顕, 高谷 直樹, 日高 紀久江, Togoobaatar Ganchimeg, 福澤 利江子, 大原 央聡, 水野 裕史	筑波大学のエキスパートから、日本が世界に誇る専門分野の概要を学ぶことで、グローバル人材となるための知識と見識を深める。	実務経験教員。対面 Japan-Expert(学士)プログラム生に限る。	

専門基礎科目(概論)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
AE53B11	現代日本語概論I		1	1.0	1・2	春AB	金4	2B309	石田 尊	現代日本語の音声・音韻、語彙、文法、談話(文章)について講義を行う。	対面
AE53B21	現代日本語概論II		1	1.0	1・2	秋ABC	応談	石田 尊	この講義では、現代日本語の基本的特徴に加え、表記、文章、方言、日本語の歴史等について講義する。	2022年度以前入学の者で、かつ教職課程の履修者に限る。対面(オンライン併用型) オンライン授業5回と面談または対面授業5回とで実施する。	
AE53B31	言語学概論		1	1.0	1・2	秋AB	木4	2B208, 2B209	澤田 浩子, 石田 尊, 今田 水穂	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE52A21の単位取得者は履修できない。対面
AE53B41	日本語教育概論		1	1.0	1・2	春AB	木4	2G407	入山 美保, 神吉 宇一	日本語教育史や国内外の日本語学習者の現状、日本語教師の役割等を学び、日本語教育の方法や意義について考える。	対面(オンライン併用型) オンラインは同時双方向型。
AE53B51	日本の文学概論		1	1.0	1・2	春AB	火3	2B507	江口 真規	日本の文学が海外の文学との関わりの中でどのように形成され評価されてきたのか、主に英語圏を中心とする日本文学の翻訳・受容との比較を通して学ぶ。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE53A21の単位取得者は履修できない。対面 短期留学生の場合、日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。
AE53B61	現代日本社会概論		1	1.0	1・2	春AB	火6	2G407	鈴木 伸隆	This class is to introduce students to the contemporary Japanese society in an anthropological perspective. It will examine topics and issues such as family, community, class and status, work and labor, and mass culture.	This class is taught in English. 英語で授業。対面

専門基礎科目(専門英語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
AE54B11	専門英語A-I		1	1.0	2	春AB	火1	1B202	山本 祐規子	人、モノ、情報が国境を越えて絶えず飛び交う社会において、英語でのコミュニケーションは、グローバル社会で活躍する人材の前提条件になっているといっても過言ではない。本講義は、英語の基礎的な知識を応用し、実践的なコミュニケーションスキルを向上させることを目的としている。さまざまな英語媒体の教材を通じ、その概要をとらえ、理解し、自分なりの考えを英語で表現する演習を継続的に行うことによって、実践的な英語力の向上を目指す。	日本語・日本文化学類正規生に限る。1クラス対象。英語で授業。対面
AE54B21	専門英語A-II		1	1.0	2	春AB	火2	1B202	山本 祐規子	人、モノ、情報が国境を越えて絶えず飛び交う社会において、英語でのコミュニケーションは、グローバル社会で活躍する人材の前提条件になっているといっても過言ではない。本講義は、英語の基礎的な知識を応用し、実践的なコミュニケーションスキルを向上させることを目的としている。さまざまな英語媒体の教材を通じ、その概要をとらえ、理解し、自分なりの考えを英語で表現する演習を行うことにより、実践的な英語力の向上を目指す。	日本語・日本文化学類正規生に限る。2クラス対象。英語で授業。対面
AE54B31	専門英語B-I		1	1.0	2	秋AB	火6		安永 麻里絵	この授業では、ヨーロッパから見た日本語・日本文化を大きなテーマとして、日蘭交流史をはじめ日本語・日本文化について英語で書かれた文献を読み解きながら、日本語・日本文化研究における英語の役割についての理解を深めます。また、これと並行して実践的なアカデミック・イングリッシュの表現を学びます。	日本語・日本文化学類正規生に限る。1クラス対象。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE54B41	専門英語B-II		1	1.0	2	秋AB	金6	安永 麻里絵	この授業では、ヨーロッパから見た日本語・日本文化を大きなテーマとして、日蘭交流史をはじめ日本語・日本文化について英語で書かれた文献を読み解きながら、日本語・日本文化研究における英語の役割についての理解を深めます。また、これと並行して実践的なアカデミック・イングリッシュの表現を学びます。	日本語・日本文化学類正規生に限る。2クラス対象。 オンライン(同時双方向型)
AE54B51	専門英語C-I		1	1.0	3	春AB	金2	渡部 宏樹	日系アメリカ人の歴史を文献と視聴覚教材を利用して学ぶことで、日本語・日本文化学類での専門教育に必要な高度な英語力を身につける。またデジタル・ツールを英語学習に取り入れる方法を学ぶ。なお本学の規定でTOEIC® IPテストを受検することが単位認定の要件となる。	日本語・日本文化学類正規生に限る。1クラス対象。 オンライン(オンデマンド型)
AE54B61	専門英語C-II		1	1.0	3	春AB	金1	渡部 宏樹	日系アメリカ人の歴史を文献と視聴覚教材を利用して学ぶことで、日本語・日本文化学類での専門教育に必要な高度な英語力を身につける。またデジタル・ツールを英語学習に取り入れる方法を学ぶ。なお本学の規定でTOEIC® IPテストを受検することが単位認定の要件となる。	日本語・日本文化学類正規生に限る。2クラス対象。 オンライン(オンデマンド型)

専門基礎科目(実践力養成)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE55A12	日本語教育学特別演習I		2	1.0	1-4				過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	2023年度開講せず。 実務経験教員。対面履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A22	日本語教育学特別演習II		2	1.0	1-4				過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	2023年度開講せず。 実務経験教員。対面履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A32	日本語教育学特別演習III		2	1.0	1-4	春C	火3,4	2G205 君村 千尋	過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	実務経験教員。対面履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A42	日本語教育学特別演習IV		2	1.0	1-4				過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	2023年度開講せず。 実務経験教員。履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55B13	海外語学研修I		3	2.0	1-4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。
AE55B23	海外語学研修II		3	2.0	1-4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。
AE55B33	海外語学研修III		3	3.0	1-4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。
AE55B43	海外語学研修IV		3	3.0	1-4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。

専門基礎科目(学際)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE56A11	共生のための社会言語学		1	1.0	1	秋AB	火2	澤田 浩子	多文化社会において生じる「ことば」に関する課題を取り上げながら、社会言語学の基礎的知見を学ぶとともに、ステレオタイプやジェンダーの問題を通して共生社会のあり方を考える。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AE56A21	共生のための日本語教育		1	1.0	1	春A	木5,6	松崎 寛, 神吉 宇一	外国人労働者受け入れが本格化する日本社会における外国人との共生に関して、日本語・コミュニケーションという観点から考える。また、外国人日本語学習者に対する「思い込み」について、言語学や第二言語習得研究の成果を元に再考し、日本語教育に関する理解を深める。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(同時双方向型) オンライン(オンデマンド型) も併用する。
AE56A31	共生のための人類学		1	1.0	1	春BC	火1	鈴木 伸隆	文化の異なる人々との共生を考える上で、文化的多様性の尊重は重要である。この授業では、文化相対主義、ジェンダー、コミュニティ、エスニシティ、ナーション、アイデンティティ、オリエンタリズム、寛容さといった基本的な概念を人類学的視点から分析することで、未来に向けた共生のあり方を理解する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AE56A41	共生のための歴史学		1	1.0	1	春BC	金3	朴 宣美	近現代日本における多文化社会の形成と変遷について歴史学の視点から考察する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE56A61	日本文学と文化	1	1.0	1	秋AB	火1		渡部 宏樹, 江口 真規, 葛西 太一	この授業では、人文学の中で日本文学と文化の研究がどのように位置づけられるのかを概説する。文学作品や文化現象を考察するための基本的な研究手法や最新の研究動向を踏まえ、内外の視点を交えて批判的に分析する方法の修得を目指す。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

専門科目(日本語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13A11	日本語の音声・音韻	1	1.0	2	夏季休業中	集中			現代日本語の音声的特徴に関する基礎的な知識を身に付ける。具体的には、話し言葉の語形、日本語学習者の音声的特徴、アクセント、イントネーション、子音、母音などについて観察・分析する能力を養う。	開講情報が決まり次第掲示する。オンライン(同時双方向型)
AE13A12	日本語の音声・音韻演習	2	1.0	3・4					「日本語の音声・音韻」で得られた知見を発展させ、ガ行鼻音、オノマトペ、外来語の表記、アクセントの機能、プロソディ等について考察する。	2023年度開講せず。
AE13A21	日本語の文法I	1	1.0	2	春AB	月2	2G305	石田 尊	文の単位を中心にした文法を考える。格、ヴォイス等の問題を取り上げ、日本語の文を文法的に観察し、分析する基礎的能力を養う。	対面
AE13A31	日本語の文法II	1	1.0	3・4	秋AB	火4	2G407	石田 尊	文の単位を中心にした文法を考える。語順、主語、他動性等の問題を取り上げ、日本語の文を構造的に観察し、分析する能力を養う。	対面
AE13A32	日本語の文法演習I	2	1.0	2	秋AB	月1	2G304	石田 尊	日本語の文法を対象とする論文をいくつか取り上げ、それらの議論の方法や手順などを発表形式で読み解いていくことで、日本語の文法を対象とする言語学的な研究の実践について理解を深める。	対面
AE13A41	日本語の文法III	1	1.0	3・4						2023年度開講せず。
AE13A51	日本語の文法IV	1	1.0	3・4						2023年度開講せず。
AE13A52	日本語の文法演習II	2	1.0	3・4	春AB	火4	2G204	石田 尊	現代日本語文法に関する数本の論文を通読し、疑問点・質問等を取りまとめる作業(学期前半)と、それらのうち最も興味を持った論文について、読解と評価の作業を行う(学期後半)という2つのパートからなる演習である。そうした作業を通して各テーマの研究状況を知るとともに、文法研究のなされ方についての理解を深める。	対面
AE13A61	日本語の語彙	1	1.0	2	春AB	金3	2B309	杉本 武	日本語の語彙の意味的側面と文法的側面、それに基づく語彙の体系について理解を深める。	対面
AE13A62	日本語の語彙演習	2	1.0	2	秋AB	金3	2G305	杉本 武	動詞を中心に様々な側面からの語彙の分析に関する文献を読み、その分析方法を検討することによって、語彙分析の方法を学ぶ。	対面
AE13A71	日本語コーパス分析	1	1.0	2	秋AB	火2	2G205, 2D202-203	杉本 武	日本語研究においてコーパスがどのように位置づけられ、どのように用いることができるのか、研究事例をもとに考える。	対面
AE13A72	日本語コーパス分析演習	2	1.0	3・4	春AB	火5	2D203-204	杉本 武	コロケーションや語彙など、具体的なトピックに基づき、コーパスを用いて用例を収集し、分析を行う	対面
AE13A81	日本語の談話	1	1.0	2	春AB	月6	2G407	澤田 浩子	談話分析に関する知見を学び、日本語のコミュニケーションにおける産出と理解の両面について理解を深める。	対面
AE13A82	日本語の談話演習	2	1.0	2	秋AB	月6	2G305	澤田 浩子	談話分析に関する知見をもとに、日本語のコミュニケーションを対象にデータを収集し、分析する力を養う。	対面
AE13A91	日本語の語用論	1	1.0	2	春AB	火4	2G407	小野 正樹	語用論の観点から注目すべき言語現象を、慣習的な日本語の用例を用いて解説し、語用論の課題に対して、コミュニケーション理論の側からのアプローチを試みる。コミュニケーションの諸理論の概説を通して、発話の目的とは何かを解き明かしていく。	対面
AE13A92	日本語の語用論演習	2	1.0	2	秋AB	火4	2G305	小野 正樹	日本語を中心として、発話機能の観点から、どのような発話機能が必要として、日本語の教科書ではどのように扱われているかを見ながら、我々は、日常的にこうした発話を行う場合に、どのような点に留意する必要があるかを、コーパスや調査に基づき、実証的に考える。	対面
AE13B11	日本語音韻史	1	1.0	2	春AB	月5	2G407	石田 尊	日本語音韻体系の歴史的变化の様子を検討していく。上代日本語から現代日本語に至る流れの中で、日本語の音韻体系にどのようなことが起こったのかを、具体的な資料などを確認しながら考察する。	対面
AE13B21	日本語文法史	1	1.0	2	秋AB	月5	2G407	石田 尊	日本語文法体系の歴史的变化の様子を検討していく。上代日本語から現代日本語に至る流れの中で、日本語の文法体系にどのようなことが起こったのかを、具体的な資料などを確認しながら考察する。	対面
AE13B31	日本語方言論	1	1.0	3・4	秋AB	金3	2G407	石田 尊	これまでの日本語方言研究においてどのような調査がなされ、明らかにされてきたのかを概観しつつ、特に方言文法の問題を中心に考察を行っていく。	対面
AE13B41	日本語動態論	1	1.0	3・4	春AB	月2	2G407	谷口 孝介, 澤田 浩子	古代から近代において、おもに中日の言語接触によって生じる種々相について議論を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13B61	言語研究の方法	1	1.0	2					日本語を出発点として、他言語との比較をまじえながら、どうしたら人間の言語知識に体系的にアプローチできるかを理論的な観点から考える。	2023年度開講せず。
AE13B62	言語研究の方法演習	2	1.0	3・4					言語構造の普遍のおよび個別的側面について理論的に考えるとともに、言語構造に関する議論を具体的なデータからどのように組立てるかを学ぶ。	2023年度開講せず。
AE13B71	言語と文化I	1	1.0	2	春AB	木1	2B309	金 仁和	文化的な影響が見られる言語表現について考察する。具体的に、積極的/消極的、絶対的/相対的、開放的/閉鎖的などの文化的特徴が言語表現の方向性(上から下/下から上、左から右/右から左、内から外/外から内、全体から部分/部分から全体、原因から結果/結果から原因、動きから停止/停止から動きなど)にどう現れるのかを調べる。	対面
AE13B72	言語と文化演習I	2	1.0	2	秋AB	木1	2G205	金 仁和	広告言語、放送(ジャンル別)言語の特徴・機能を調査する。	対面
AE13B81	言語と文化II	1	1.0	3・4	春AB	木4	2G205	金 仁和	辞書での多義語を対象として、意味派生の方向を分析する。分析結果を他言語と比較し、個別言語の特徴を明らかにする。なお、重義の語彙や表現の曖昧さを解決する方法を考える。	対面
AE13B82	言語と文化演習II	2	1.0	3・4	秋AB	木4	2G205	金 仁和	語彙の目的別分類法、分類・提示基準について調査し、分類を実践する。特に、語種別(例えばカタカナ語と非カタカナ語)の使用目的・効果などについて考察する。	対面
AE13B91	言語と論理	1	1.0	3・4	春AB	火6	2G305	杉本 武	言語の形式化の基礎となる集合および命題論理、述語論理、様相論理などの論理を学び、これらと言語との関わりについて考察する。	対面
AE13C11	コーパス言語学	1	1.0	2	春AB	木3	2G205, 2D203-204	杉本 武	コーパスとはどのようなものであるのか、その特徴を学び、コーパスを言語研究に利用するメリットとデメリットについて考える。	対面
AE13C13	コーパス言語学実習	3	1.0	2	秋AB	木3 応談	2D202-203	杉本 武	コーパスの利用法について学ぶ。検索エンジンやコーパス検索システムなどの利用法、コーパスの検索に有効な正規表現の書法を実習する。	対面

専門科目(多文化共生・日本語教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13E11	日本語教育文法論	1	1.0	2	春C	応談			日本語教育におけるコースデザインやシラバスの組み立て、教材や教案の作成に必要な日本語文法の知識を身につける。	開講情報が決まり次第 掲示する。
AE13E21	日本語技能指導論	1	1.0	3・4	秋AB	応談			「話す」「聞く」「読む」「書く」の四技能の指導に関して、日本語教育の理論および実践の両面から理解を深める。	開講情報が決まり次第 掲示する。
AE13E31	第二言語習得論	1	1.0	3・4	通年	応談			第二言語習得研究分野における基礎的なトピックをとりあげ、日本語教育への応用について考える。	開講情報が決まり次第 掲示する。
AE13E41	外国人児童生徒教育論	1	1.0	2 - 4	春B	集中		澤田 浩子	日本における外国人児童生徒教育をめぐる諸問題について、異文化接触、第二言語習得、日本語教育学、学校教育、地域社会での実践等、多角的な視野から取り上げる。本講義を受講することで受講生は、将来どのような分野に進んでも、外国人児童生徒教育に関わる支援のリーダーシップを取れるような考え方を身につけることができる。	6/3.17 対面
AE13E51	異文化間心理学	1	1.0	2 - 4	通年	応談			異文化間心理学の着想と知見を紹介し、その教育応用について講義する。AUC-GS学習モデルを用いた心理教育的セッションを体験的に理解しながら、教材作成に取り入れる方法を考える。実証研究の論文を読み、後続研究への展開を考える。	開講情報が決まり次第 掲示する。
AE13E61	日本語教育心理学	1	1.0	3・4	通年	応談			日本語を含む言語学習および教育に関わる心理(認知面・情意面)の基本的な概念を学ぶ。自身の言語学習を振り返りつつ、理論と経験を結びつけながら理解する。言語の学習や教育での応用についても考える。	開講情報が決まり次第 掲示する。
AE13E62	日本語教育心理学演習	2	1.0	3・4	通年	応談			日本語教育における心理学的研究の考え方や手法を学び、実際にデータをとって分析・考察を行う。その際、研究は小グループで行う。	開講情報が決まり次第 掲示する。
AE13E71	海外の日本語教育と日本学	1	1.0	3・4	春AB	火3	2G205	小野 正樹	日本語教育を、自国文化普及政策のソフトパワーとして捉え、日本語教育政策について、現状の課題から政策までを講義する。	対面
AE13E72	海外の日本語教育と日本学演習	2	1.0	3・4	秋AB	火3	2G205	小野 正樹	日本語教育を、自国文化普及政策のソフトパワーとして捉え、日本語政策について、現状の課題から政策までの課題を各自が設定した課題を参加者で議論し、理解を深める。	対面
AE13E81	日本文化入門	1	1.0	2	秋AB	木6	2G407	鈴木 伸隆	This class is to provide students with basic ideas and knowledge to understand the historical development of Japanese culture. It will particularly examine how Japan has created its unique religious tradition and practice through accepting Chinese influences.	This course is taught in English. 英語で授業。G科目。対面
AE13E91	多文化の中の日本	1	1.0	3・4	春AB	木3	2G407	鈴木 伸隆	日本に生起する多様な問題を多文化状況という文脈に位置づけ、理論的、実践論的な視点から分析し、その重層的な意味を理解する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13E92	多文化の中の日本演習	2	1.0	3・4	秋AB	木3	2G305	鈴木 伸隆	『多文化主義とは何か』(アンドレア・センブリーニ著、文庫クセジュ、白水社刊)を講読し、理念としての多文化主義を学ぶ。	対面

専門科目(日本文化)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13G11	日本の政治と社会	1	1.0	3・4	春AB	木6	2D205	長尾 宗典	近代日本の政治と社会について論じる。特に帝国図書館の発展を軸に、読者と検閲との関係について講義する。	対面
AE13G12	日本の政治と社会演習	2	1.0	3・4	秋AB	木6	2D205	長尾 宗典	近代日本の政治と社会に関する文献を講読し、歴史的な視点から日本の社会を捉える方法を身につける。	対面
AE13G21	東洋の歴史と文化	1	1.0	2	秋AB	水1	2A409	朴 宣美	現代韓国の歴史と文化を考察する。南北分断、民主化運動、民主化以後の国民意識などを取り上げる	対面
AE13G31	近代日本の文化交流	1	1.0	3・4	春AB	木2	2G407	朴 宣美	社会文化史、ジェンダー史の視点から、「近代日本」における人々の移動・交流・変化する意識について考察する。	対面
AE13G32	近代日本の文化交流演習	2	1.0	3・4	秋AB	木2	2G407	朴 宣美	近現代日本における戦争観、歴史教育問題をテーマにして議論し、テキスト批判トレーニングを行う。	対面
AE13G41	日本の宗教と芸能	1	1.0	3・4	秋AB	木5	2B208, 2B209	山澤 学	日本近世・近現代における宗教・芸能・社会について、具体的な事例を取り上げながら学修する。	実務経験教員 対面
AE13G51	日本文学の歴史	1	1.0	2	秋AB	木5	2G407	谷口 孝介	日本文学の歴史を考えるさいの基層となる、古代日本の文学表現について概観する。	対面
AE13G61	日本文学と自然	1	1.0	2	秋AB	金1	2B507	江口 真規	日本文学と「自然」との関わりについて、エコクリティシズムの視点から、主に1960年代以降の公害問題を扱った文学作品(石牟礼道子、有吉佐和子など)の分析を通して学ぶ。	対面 短期留学生の場合、日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。
AE13G72	日本文学とその特質演習I	2	1.0	2					どのように日本の神話が文字記載されたのか精読し、国内外の文化的事象と比較することを通して、日本文学の特質を演習形式によって実践的に学ぶ。	2023年度開講せず。対面
AE13G82	日本文学とその特質演習II	2	1.0	3・4	秋AB	火5	2G204	葛西 太一	日本各地の伝承を記載した『風土記』の文学表現を読み解くことによって、日本文学の特質を演習形式によって実践的に学ぶ。	対面
AE13G91	国語科教育と文学	1	1.0	2 - 4	秋AB	月2	2B207	石塚 修	中等教育の国語科でよく扱われる文学教材を中心にして、その内容や授業方法について考察する。教員免許を取得して実際に国語科教員になることを熱望する人材のみ受講していただきたい。	日本語・日本文化学類生に限る。西暦奇数年度開講。実務経験教員 対面
AE13G92	国語科教育と文学演習	2	1.0	2 - 4					中等教育の国語科でよく扱われる文学教材を中心にして、その内容や授業方法について考察する。教員免許を取得して実際に国語科教員になることを熱望する人材のみ受講していただきたい。	日本語・日本文化学類生に限る。西暦偶数年度開講。実務経験教員 対面
AE13H11	中国文学と日本文学	1	1.0	2	春AB	月4	2G407	谷口 孝介	日本文学に大きな影響を与え続けた、中唐白居易『白氏文集』を概観し、いくつかの作品を講読する。	対面
AE13H12	中国文学と日本文学演習I	2	1.0	2	秋AB	月4	2G204	谷口 孝介	日本文学における中国文学の受容の実態を知るための入門として、平安時代文人の逸話集である林梅洞『史館名話』(1668年刊)を精読する。	対面
AE13H22	中国文学と日本文学演習II	2	1.0	3・4	秋AB	火6		葛西 太一	日本が独自の文字文化を持たないなか、どのように漢字や中国文学を受容して自ら文字表現したのか、和漢の古典籍を比較する演習形式によって実践的に学ぶ。	対面
AE13H43	日本文化研究実習I	3	1.0	2 - 4	春AB	木5,6	2C109	葛西 太一	日本の伝統文化を代表する「茶の湯」について、その歴史と実際を学ぶ。茶道の未経験者に限る。実習のための扇子・帛紗(5,000円程度)のほか、茶・菓子代・茶会参加など別途6,000~8,000円程度の実費が必要となる。実習の都合上、受講生の人数調整をするので、初回に出席してエントリーを許可されない者には受講を認めない。実習をともなうので途中でのみだりな欠席や放棄が予想される者は絶対に履修しないこと。茶の湯の作法は裏千家に則って行う。	対面 日本語・日本文化学類生に限る。実習科目のため備品の関係で人数制限をする。
AE13H53	日本文化研究実習II	3	1.0	3・4						2023年度開講せず。
AE13H63	文化の伝流と複合実習	3	2.0	3・4	春C 夏季休業中	月3,4 集中	2G204	谷口 孝介, 葛西 太一	東アジア文化のなかで日本文化が展開・複合する様相を、実地研修(3泊4日程度)および博物館見学などを行いつつ考察する。	対面 実地研修などに要する費用は各自実費負担。15名を以てを目途に人数制限を行う。
AE13H91	世界文学と日本文学	1	1.0	2	春AB	金1	2G407	江口 真規	アニマル・スタディーの理論を概観したうえで、クツエーやカフカ、宮沢賢治などの文学作品を講読し、文学・文化を人と動物の関係から考察する。	対面 This course will be conducted in Japanese.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13H92	世界文学と日本文学演習I	2	1.0	2	秋AB	水2	2G205	江口 真規	日本語で書かれた短編小説の精読を通して、文学作品の分析と研究方法を演習形式で学ぶ。特に作品に描かれた動物の表象に着目し、海外文学との比較から考察を行う。	対面 短期留学生の場合、日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。日本語・日本文学類に所属している短期留学生に限る。
AE13J12	世界文学と日本文学演習II	2	1.0	3・4	春AB	金4	2G204	江口 真規	具体的な作品の分析とテキストの講読・発表を通して、文学・文化の研究手法と文学理論（ジェンダー批評やポストコロニアル批評等）の歴史を学ぶ。文学・文化を研究するうえでどのようなアプローチがあるのかを知り、自らの研究方法の選択に生かしていくとともに、文化事象を分析するための考察力を身に付ける。	対面 短期留学生の場合、日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。日本語・日本文学類に所属している短期留学生に限る。
AE13J21	表象文化論	1	1.0	2	春AB	金5		渡部 宏樹	文化的表象を分析する際の基礎的な概念や方法論を学ぶ。表象とは何か、なぜ表象が問題なのか、表象を分析するときどのような方法があるか、芸術研究とはどう異なるのか、といった点を講義中心に解説する。	オンライン(オンデマンド型)
AE13J22	表象文化論演習	2	1.0	3・4	秋AB	金4	2G204	渡部 宏樹	演習形式で日本や日本と関係する文化的表象を具体的に分析する。基本的には視覚的表象を中心に扱う。	英語で授業。 対面
AE13M11	日本文化特講I	1	1.0	2 - 4	秋B	集中		布瀬 雅義	近代日本は西洋で発達した近代物質文明を大幅に取り入れ、それによる都市化、グローバル化に関しては、すでに世界の最先端を走っている。近代物質文明は国民生活を物質的には豊かにしたが、自然との断絶や共同体の崩壊で、精神的な幸福を与えられない。本講義は、江戸時代までの日本文化・文明と現代物質文明を比較しつつ、両者を活かした新日本文明のありかたを模索する。	11/11, 12/2, 12/3 対面
AE13M21	日本文化特講II	1	1.0	2 - 4					文化が特定の社会集団に特徴的な価値観の表われだと考えれば、その社会集団で称賛されている人物の生き方を探るのも、文化研究の有効な手段であろう。本科目はこの視点から、国際的に称賛されている日本人を取り上げ、受講者数名によるグループ研究によって分析する。	2023年度開講せず。

専門科目(国際・協働)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14A12	日本語・日本文化共同研究I	2	1.0	2 - 4	春AB	月6	2G204	今田 水穂	留学生と学類生が共同で、指示語・接続語・助詞などの機能表現をテーマとし、日本語を母語としない学習者に説明することを想定して、体系全体の説明、他言語との比較、特定の表現の用法や使い分けなどを調査・分析し、発表を行う。	G科目。対面 状況によりオンライン授業になる場合がある。
AE14A22	日本語・日本文化共同研究II	2	1.0	2 - 4	秋AB	月6	2G204	今田 水穂	留学生と学類生が共同で、態・相・時制・様相・待遇表現のいずれかの範疇に属する言語表現(特に助動詞などの文末表現)をテーマとし、日本語を母語としない学習者に説明することを想定して、体系全体の説明、他言語との比較、特定の表現の用法や使い分けなどを調査・分析し、発表を行う。	G科目。対面 状況によりオンライン授業になる場合がある。
AE14A32	日本語・日本文化共同研究III	2	1.0	2 - 4	春B 春C	火6 火6 集中	2G205	江口 真規	国重要無形民俗文化財である秋田県の竿燈まつりに参加し、留学生と日本人学生による共同活動・調査を通して、日本の伝統行事と地域社会の関わりについて考察を深める。	G科目。対面 人数の受講制限があるため、特段の理由がない限りは日本語・日本文学類生の受講を優先する。 受講を検討している人は、4/25(火)6限の事前オリエンテーションに必ず参加すること。
AE14A42	日本語・日本文化共同研究IV	2	1.0	2 - 4	秋AB	集中		加藤 晴美	日本の地域社会を理解するうえで基本となるマチとムラについて、フィールドワーク(巡検)を行う。2回実施する巡検では、教員が現地を案内・解説するとともに、留学生と日本人学生からなるグループが事前に調査した内容を発表し、歴史的・文化的な景観やそこに展開する生活文化の特色について考察する。	交通費・見学入館料・食事代などは自己負担とする。履修希望者多数の場合は人数制限を行う(25名程度)。事前学習、現地見学合わせて土日3日間の予定で開講する。 G科目。対面(オンライン併用型) 事前学習1回はオンライン(双方向型)で行う。
AE14B13	言語教育対話実習I	3	1.0	2 - 4	通年	応談			日本人および留学生による未習外国語の模擬授業および意見交換を通して、指導技術の向上を目指すとともに、学習者の立場を理解し、学習がどのようにして起こるのかに対する理解を深める。	G科目。対面 開講情報が決まり次第 掲示する。
AE14B23	言語教育対話実習II	3	1.0	2 - 4	通年	応談			日本人および留学生による未習外国語の模擬授業および意見交換を通して、指導技術の向上を目指すとともに、学習者の立場を理解し、学習がどのようにして起こるのかに対する理解を深める。	G科目。対面 開講情報が決まり次第 掲示する。
AE14C13	日本語教育実習	3	3.0	2 - 4	春BC 夏季休業中	木5,6 集中		澤田 浩子, 金 玲 眞	カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇Iに立つての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	実務経験教員。対面 受講生数次第で履修を制限することがある。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14C23	日本語教育国際研修I	3	3.0	2-4					マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 2023年度開講せず。 CDP. 実務経験教員。 対面
AE14C33	日本語教育国際研修II	3	3.0	2-4	通年	応談		渡部 宏樹, 澤田 浩子	マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員
AE14C43	日本語教育国際研修III	3	3.0	2-4					マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 2023年度開講せず。 CDP. 実務経験教員
AE14E13	日本語・日本文化国際研修I	3	3.0	2-4	秋C 春季休業中	水5,6 集中	2G205	澤田 浩子	スロベニア・リュブリャナ大学で2週間の異文化理解プログラムを行う。(1)日本の言語・文化・社会に関する研究発表を行い、現地の大学生と学術交流を行う。(2)民族学博物館、国立美術館、現地小中学校等の見学。(3)スロベニア語の基本的な特徴を理解し、日常会話を習得する。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 G科目. 実務経験教員。 対面
AE14E23	日本語・日本文化国際研修II	3	3.0	2-4					スロベニア・リュブリャナ大学で2週間の異文化理解プログラムを行う。(1)日本の言語・文化・社会に関する研究発表を行い、現地の大学生と学術交流を行う。(2)民族学博物館、国立美術館、現地小中学校等の見学。(3)スロベニア語の基本的な特徴を理解し、日常会話を習得する。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 G科目. 実務経験教員。 対面
AE14E33	日本語・日本文化国際研修III	3	3.0	2-4	春B秋A	集中	2G407	朴 宣美	日韓の歴史問題への理解を深めるため韓国で実習を行う。	人数制限あり。詳細が決まり次第、後日掲載。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。 G科目. 対面
AE14F13	日本語教育企業研修	3	3.0	2-4					日本語教材出版社社員の指導のもと、リモートワークを前提とした教材作成・編集等に関する実践的な研修を行う。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 2023年度開講せず。 CDP. 実務経験教員
AE14F43	国際・協働インターンシップI	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子	国内外で行う多文化共生に関わる社会的活動(ボランティアや企業研修)に対して、インターンシップとして単位を付与する。	履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員。 対面
AE14F53	国際・協働インターンシップII	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子	国内外で行う多文化共生に関わる社会的活動(ボランティアや企業研修)に対して、インターンシップとして単位を付与する。	履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員。 対面
AE14G13	日本語方言研究フィールド実習I	3	3.0	2-4	春AB秋AB 夏季休業中	金6 集中	2G204	石田 尊	特定の地点でのフィールドワークを中心とした実習科目である。事前学習の期間に自ら調査する内容を検討し、事後学習の期間では調査結果の整理とプレゼンテーション等を行う。調査のテーマとしては、アクセントを含む音韻・音声および動詞や名詞などの語彙調査を中心とする。なお、COVID-19の影響により、授業予定が大幅に変更となる可能性がある。第1回にガイダンスを行うので参加すること。	人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AE14G23	日本語方言研究フィールド実習II	3	3.0	2-4					特定の地点でのフィールドワークを中心とした実習科目である。春ABの期間に調査対象となる地域の言語的な状況を確認・検討し、また言語調査に必要な基本的な知識やスキルを学ぶ。夏季休業中には現地での実習を行う。秋ABの期間には、現地調査の結果の整理と報告の作成を行う。また併せて他の年度の調査結果との比較検討を行う。	人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 対面
AE14G33	日本語談話研究フィールド実習I	3	3.0	2-4	春C 夏季休業中	月5,6 集中	2G205	澤田 浩子	日本語における言語コミュニケーションについてフィールドワーク調査を行い、レポートを作成する。現地での滞在調査を通じて、言語と人間・文化・社会との関わりを学ぶ。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AE14G43	日本語談話研究フィールド実習II	3	3.0	2-4					日本語における言語コミュニケーションについてフィールドワーク調査を行い、レポートを作成する。現地での滞在調査を通じて、言語と人間・文化・社会との関わりを学ぶ。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 対面
AE14G53	日本文化研究フィールド実習I	3	3.0	2-4	春C 夏季休業中	水5,6 集中	2G407	鈴木 伸隆	今日、日本の地域社会を取り巻く「まちづくり」という現象は、観光という大きな流れと不可分に結びついている。この実習ではまちづくりに焦点を当て、特に現地での聞き取りからデータ収集し、レポートをまとめるという一連の作業を通して、フィールド調査の基礎を実践的に学ぶ。	4月下旬から5月上旬(予定)にかけて説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14G63	日本文化研究フィールド実習II	3	3.0	2-4					今日、日本の地域社会を取り巻く「まちづくり」という現象は、観光という大きな流れと不可分に結びついている。この実習ではまちづくりに焦点を当て、特に現地での聞き取りからデータ収集し、レポートをまとめるという一連の作業を通して、フィールド調査の基礎を実践的に学ぶ。	5月初旬(予定)に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。西暦偶数年度開講。対面
AE14H12	外国人児童生徒支援研究I	2	1.0	2-4	春C夏季休業中	集中		澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、実践を念頭においた研究を行う。	AE14H22の単位取得者は履修不可。実務経験教員。対面(オンライン併用型)
AE14H22	外国人児童生徒支援研究II	2	1.0	1-3	春季休業中	集中		澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、実践を念頭においた研究を行う。	AE14H12の単位取得者は履修不可。実務経験教員。対面(オンライン併用型)
AE14H23	外国人児童生徒支援実習I	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子, 入山美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、インターネットを通じた日本語支援の実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。対面
AE14H33	外国人児童生徒支援実習II	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子, 入山美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、インターネットを通じた日本語支援の実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。対面
AE14H52	外国人児童生徒支援プロジェクト研究	2	1.0	3-4	春A	集中		澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参加しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとして活動するために、実践を念頭においた研究を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」「外国人児童生徒支援実習」を受講していることを履修の条件とする。4/23, 24 実務経験教員。対面
AE14H63	外国人児童生徒支援プロジェクト実習I	3	3.0	3-4	通年	応談		澤田 浩子, 入山美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参加しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとしての実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」「外国人児童生徒支援実習」「外国人児童生徒支援プロジェクト研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。対面
AE14H73	外国人児童生徒支援プロジェクト実習II	3	3.0	3-4	通年	応談		澤田 浩子, 入山美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参加しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとしての実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」「外国人児童生徒支援実習」「外国人児童生徒支援プロジェクト研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。対面

専門科目 (Japan-Expertインターンシップ)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE18K13	Japan-ExpertインターンシップI	3	3.0	3-4					海外または国内で日本語教育実習を行う。カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立つての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	Japan-Expert日本語教師養成コース学生に限る。インターンシップ科目。西暦偶数年度開講。実務経験教員
AE18K23	Japan-ExpertインターンシップII	3	3.0	3-4	春BC夏季休業中	木5,6集中		入山 美保	海外または国内で日本語教育実習を行う。カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立つての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	Japan-Expert日本語教師養成コース学生に限る。インターンシップ科目。西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面

卒業論文

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE10A12	総合演習導入I	2	1.0	2	秋C	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成にむけて問題発見のための指導を行う。	対面
AE10A22	総合演習導入II	2	1.0	2	通年	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成にむけて問題発見のための指導を行う。	留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。対面
AE10B12	総合演習I-a	2	3.0	3	春AB春ABC	水6随時	2G204	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10B22	総合演習I-b	2	3.0	3	春AB春ABC	水6随時	2G205	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10B32	総合演習I-c	2	3.0	3	春AB春ABC	水6随時	2G304	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10B42	総合演習I-d	2	3.0	3	春AB春ABC	水6随時	2G305	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE10B92	総合演習III	2	3.0	3	秋ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための基礎力を養う。	AE10B12/AE10B22/AE10B32/AE10B42に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10C12	総合演習II-a	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	2G204	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10C22	総合演習II-b	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	2G205	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10C32	総合演習II-c	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	2G304	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10C42	総合演習II-d	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	2G305	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成に求められる問題発見能力を養う。	対面
AE10C92	総合演習IV	2	3.0	3	春ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための基礎力を養う。	AE10C12/AE10C22/AE10C32/AE10C42に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10D12	卒業論文演習I	2	3.0	4	春AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	対面
AE10D22	卒業論文演習III	2	3.0	4	秋AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	AE10D12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10E12	卒業論文演習II	2	3.0	4	秋AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	対面
AE10E22	卒業論文演習IV	2	3.0	4	春AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	AE10E12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10F18	卒業論文	8	6.0	4	秋ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	対面
AE10F28	卒業論文	8	6.0	4	春ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面

日本語・日本文化研修留学生

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE81N13	日本語・日本文化実験実習	3	1.0	1	秋AC 秋B	随時 集中		渡部 宏樹, 澤田 浩子	学外での研修を通して日本文化に直接接する。研修前には事前学習を行い、研修後は各自のテーマでレポートを作成する。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面
AE82N22	日本語・日本文化基礎研究	2	1.0	1	秋AB	随時		渡部 宏樹, 澤田 浩子	修了レポート作成のための予備指導を行う。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面
AE82N32	日本語・日本文化特別研究	2	2.0	1	春AB	随時		朴 宣美, 渡部 宏樹	修了レポート作成のための指導を行う。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面
AE82N48	日本語・日本文化修了レポート	8	2.0	1	春ABC	随時		朴 宣美, 渡部 宏樹	各自の研究テーマについて、各指導教員のもとで修了レポートを作成する。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面